

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくり

NEWS vol.45



写真:もくもくまつり2017での木工教室
(道の駅うつのみや ろまんちっく村「にぎわい広場」)
—とちぎの元気な森づくり県民会議事業—

▼特集

- ①「森の子サミット」ってなあに?
- ②平成28年度とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価
- ③「とちぎの元気な森づくり県民税」10年間延長されます
- ④「とちぎ木づかい条例」が制定されました

▼元気な森づくり県民会議だより

森づくり推進部会、木づかい推進部会、普及・啓発部会の活動

▼伝言板

発行元：とちぎの元気な森づくり県民会議
事務局：宇都宮市塙田1-1-20 栃木県環境森林政策課内
連絡先：(028)623-3302



とちぎの森づくりNEWSは、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。



「森の子サミット」ってなあに？

～ 大田原市ふれあいの丘で体験交流活動を開催 ～

栃木県では、ふるさとの大切な森林を将来に引き継いでいくために、森林の大切さの理解促進を図り、森づくり活動に取り組む「人づくり」を進めています。

その一環として、子どもたちを対象とした森林や環境に関する体験交流活動「とちぎ森の子サミット」を開催しています。今年度は次のとおり開催しました。

- 1 開催日 平成29年8月5日（土）
- 2 場所 大田原市ふれあいの丘
- 3 参加者 83名（県内の緑の少年団、こどもエコクラブ）
- 4 活動内容 緑の少年団やエコクラブの仲間と交流しながら、次の3つの活動メニューを体験し、森林や環境に対する理解を深めていただきました。

（1）自然観察

自然観察に出発！



この木の特徴は…

落葉の下から見つけたのは何か？



大田原市ふれあいの丘内を散策しながら、自然観察のポイントを学び、植物や生き物など、自然とふれあいました。

（2）工作体験

一生懸命やすりで削って…



ついに完成！

実際に飛ばしてみました。



竹とんぼを製作し実際に遊んでみることで、木のぬくもりやにおいを感じました。

（3）エコ・プログラム

無人島に何を持って行った方がいいかな？



チーム内で歌を絞って、優先順位を決めます。

発表し合いながら、自分たちの生活を見直しました。



無人島に持って行くものをみんなで考えて発表し合い、エコライフについて考えました。

子どもたちの声（アンケート結果より）

- ・木で鉛筆を作りたい。
- ・昆虫採集をしたい。
- ・木を実際に植えてみたい。
- ・自然観察をもっとやりたい。



平成28年度とちぎの元気な森づくり県民税事業の評価

～ 評価委員会による報告書がまとまる ～

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会において、平成28年度とちぎの元気な森づくり県民税事業の実施状況等について検証・評価が行われ、その結果が報告書として取りまとめられました。



平成28年度評価報告

評価

○ 平成28年度に実施された、奥山林整備、里山林整備、森を育む人づくりのすべての事業について、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。

引き続き、「有効性」、「効率性」、「進捗度」に十分配慮し、事業の適正な執行に努めること。

主な事業の報告内容は以下のとおり。

とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 実績

整備面積	間伐	2,327ha	(18市町)	75箇所
	獣害対策	498ha	(7市町)	915箇所
決算額		5億6,356万円		



間伐による整備 (日光市)



獣害対策の実施 (佐野市)

明るく安全な里山林整備事業 実績

整備面積		265ha	(20市町)	95箇所
管理面積		1,084ha	(22市町)	229箇所
決算額		1億6,473万円		



里山林の整備 (那須烏山市)

— 評価委員会について詳しくは県ホームページを御覧ください —

(栃木県HP) ホーム > くらし・環境 > 自然・動植物 > 森づくり
 > とちぎの元気な森づくり県民税 (とちぎの元気な森づくり県民税事業)
 > とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d01/eco/shinrin/zenpan/moridukurihyoukaiinkai.html>

特集③

「とちぎの元気な森づくり県民税」 10年間延長されます

栃木県では、元気な森を次世代に引き継いでいくために平成20年度から「とちぎの元気な森づくり県民税」を導入し、荒廃した森林の整備等に取り組んできました。

当初、課税期間を平成29年度までの10年間としていましたが、課税期間が終了を迎えるに当たり、これまでの取組について評価を行うとともに、森林・林業、山村地域の現状等を踏まえ、とちぎの元気な森づくり県民税の今後のあり方を検討しました。

その結果、県民共有の財産である森林を健全な状態で次世代に継承していくため、「とちぎの元気な森づくり県民税条例」を改正し、課税期間を10年間延長することになりました。

次期税事業の取組例

○森林資源の循環利用

伐採後の植栽や、野生獣から樹木を守るための防除対策、多くの人々が利用する施設の木造・木質化などの支援

○持続可能な森林管理

手入れのできない針葉樹林から管理の容易な広葉樹林への転換や、身近な里山林の保全などの支援

○森林所有対策

所有者自ら管理できない森林を適正に管理していくための仕組みづくり



植栽



里山林の整備



木造・木質化

森林の公益的機能を維持・向上させます



引き続き、皆さまの御理解・御協力をお願いいたします。





「とちぎ木づかい条例（栃木県県産材利用促進条例）」が制定されました！



平成29年10月10日制定
平成29年10月18日施行

この条例は、唯一都道府県名に「木」の文字がある栃木県の森林を県民共有の財産として健全な姿で次の世代に引き継ぐため、県産木材の積極的な「木づかい」を進めることを目的に制定されました。

森林・林業を巡る課題

- ①木材需要の低迷により、林業・木材産業が衰退し、中山間地域の過疎化が進行
- ②担い手不足等により森林の荒廃が進み、土砂崩れの恐れや水源かん養機能が低下
- ③森林の高齢化が進み、二酸化炭素の吸収力が低下

木づかいの必要性

栃木県の森林において、戦後植林した人工林では、人に例えると45歳を超える成熟した森林が面積の7割を占める中、今まさに利用時期を迎えています。

私たちが日常生活において、より多くの木材を利用することは、地球温暖化の防止や大気・水質の浄化など森林の有する様々な機能の発揮と、林業・木材産業の振興など地方創生にとって欠かせない中山間地域の活性化に貢献する大きな二つの意義を持つことから必要な取組と言えます。

私たちができる「木づかい」とは・・・

木材には、リラックス効果や温湿度調節など様々な機能があります。食器やおもちゃ、家具等身近なところから木づかいをすることが出来ます。



「植えて、育てて、伐って、使う」という森林資源の循環利用が大切です。

**皆さんの一つ一つの木づかいが
次世代に森林を引き継ぐための気づかいとなります。**

元気な森づくり県民会議だより

森づくり推進部会

イベント等にて、元気な森づくりをPR!

実施日	イベント名等
8月19日（土）	栃木県林業センター公開デー（宇都宮市）
10月14日（土）	ベルモールでのPR活動（宇都宮市）
9月15日～10月16日	県庁舎・地方合同庁舎における懸垂幕・横断幕掲示
10月6日～10月20日	県庁15階展望ロビーにおけるパネル展示

県主催のイベントや、宇都宮市内の商業施設において、とちぎの元気な森づくりをPRしました。

商業施設を活用することで、県の各種イベントにはご来場いただけない方々にもPRすることができました。

また、県庁舎におけるパネル展示や懸垂幕掲示など「元気な森づくりの日」（10月16日）のPRを図りました。

多くの方々に工作体験へ参加いただき、さらにパネル展示やPRグッズ、パンフレットの配布をとおして参加者の皆様に「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用した「間伐」など、「とちぎの森づくり」について理解を深めていただきました。



押し花しおりづくり
（県林業センター）



松ぼっくりパラシュート・
押し花しおりづくり
（ベルモール）



県庁15階展望ロビーの展示



県庁安蘇庁舎（佐野市）

木工工作コンクール、金賞決まる!

～ 第10回子どもたちの木工工作コンクールの審査結果について～

子どもたちの木づかい活動を広く普及するため、第10回子どもたちの木工工作コンクール（第42回全国児童・生徒木工工作コンクール栃木県大会）を開催し、応募作品341点の中から6点の作品が金賞受賞となりましたので御紹介します。

この金賞受賞作品は、平成30年開催予定の第42回全国児童・生徒木工工作コンクールに栃木県代表として出品されます。

金賞（最優秀賞）：栃木県 知事賞

○小学校低学年の部
「流木のミヤマクワガタ」



那須町立東陽小学校
3年 渡邊 瑠音さん

○小学校高学年の部
「ねずみのひなまつり」



那須塩原市立大原間小学校
5年 室井 斐奈葵さん

○中学校の部
「深海の静寂」



那須塩原市立高林中学校
2年 君島 理久さん
月井 大揮さん

金賞：栃木県 教育委員会教育長賞

○小学校低学年の部
「昔の水しゃ」



那須塩原市立三島小学校
4年 田崎 叶都 さん

○小学校高学年の部
「鷲の巣づくり」



那須塩原市立共英小学校
6年 八木澤 歩香 さん

○中学校の部
「Flying」



那須塩原市立高林中学校
2年 今井 元基さん、菊地 奏太さん
笹井 丞さん、星 光将さん



普及・啓発部会

元気な森づくり 県民税の取組をPR!

～ 伐木技術競技会 ～



森づくり県民税による取組をPR

10月22日（日）に中止となってしまった、とちぎ林業Grand Prix2017inみぶに代わり、11月5日（日）に伐木技術競技会がみぶハイウェーパークで行われました！

伐木技術競技会は、県民の皆さまに広く林業の技術を見ていただくだけでなく、全国大会への予選も兼ねており、白熱した大会となりました。

このイベントの中で、「とちぎの元気な森づくり県民税」事業のパネル展示や県民税についてアンケートを実施したり、とちもりくんグッズを配布し、訪れた方々に、元気な森づくり県民税の取組についてPRしました。



競技会では10名の選手が技術を競い合いました！



会場には高性能林業機械も展示



きのご販売や木工教室などのブースが並びました



スキマの時間ですぐ学べます!

～ 森づくりを知らないなら、動画を見ませんか? ～



ホームページ「とちぎの森づくり」には、元気な森づくりの取組内容を紹介している動画があります。（約15分間）

ぜひご覧ください！

ぼくが紹介してます。



とちぎの森づくり

「とちぎの森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。